



特集

# 脳卒中

## ●脳卒中の種類

### 脳梗塞

脳へ血液を送る血管が詰まってしまうタイプ

### 脳出血

脳の中で細い血管が破れてしまうタイプ

### くも膜下出血

脳の太い血管の一部がふくらんだコブ(動脈瘤)が破裂して、脳の表面に出血が広がってしまうタイプ

脳卒中の症状は様々。共通するのは「突然発症する」ということです。はっきりとわかる形で、これまで経験したことのないような体の異変が起こったら要注意! 少しでもおかしいと感じる場合は、一刻も早く専門病院へ行き、的確に処置してもらう必要があります。早めの処置こそ、重度に陥ったり後遺症を残さないための一番の対処です。今回は、脳卒中の特徴とその症状の特徴を把握していきましょう。

#### 脳梗塞と脳出血の場合

- 片麻痺が起こり、顔の右か左の半分、片方の手足が突然動かなくなる。
- 同じ部位の感覚が鈍くなったり、しびれが生じる。
- 突然、ろれつが回らなくなる、言葉が出なくなる、相手の言葉を理解できなくなる。
- 失調が起こる。  
(手足の麻痺はないのに、急に足元がふらついて、立ったり歩いたりできなくなる)。
- 突然、片目の視力がなくなる、視野の一部が見えない、物が二重に見える。
- 意識状態の悪化。  
軽度／なんとなくぼんやりする。  
重度／強く呼びかけてもつねても、目を閉じたまま反応がない。

#### くも膜下出血の場合

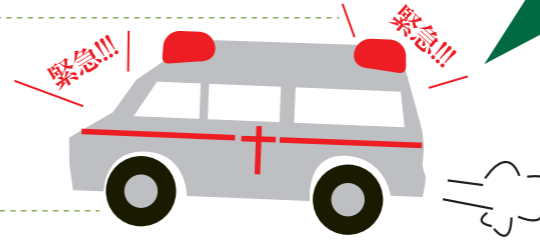
- 今までに経験したことのない激しい頭痛が起きる。  
(開始時刻が特定できるほど、はっきりと現れます)。
- 頭痛の強さは発症時点でピークに達し、その後も痛みが持続する。  
同時に、嘔吐することもある。

安心して! それは脳卒中ではありません!

「両側の指先が徐々に、あるいは時々しびれる」というのは、脳卒中の症状ではありません。また「最近なんとなく頭が痛い」という発症時間の特定できないタイプの頭痛も、脳卒中の症状とは異なります。



予防には、症状の理解が何より大切。  
症状がある?ない? アナタも確認を!



## ●脳卒中にならないために。

そして何より、脳卒中にならないために、日頃から十分健康管理には注意しましょう。日本脳卒中協会 (<http://www.jsa-web.org/>) による、予防のための十か条を紹介します。

### 脳卒中 予防十か条

- 1 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つけ次第 すぐ受診
- 4 予防には タバコを止める 意志を持って
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

徳島大学病院 脳卒中センター  
1999年より、全国に先駆けて、集中治療室に3:1の看護体制をとるストロークケアユニットを開設し、徳島県から脳卒中の患者さんを24時間体制で受け入れ、診断・治療を行うセンターです。脳神経外科医、神経内科医が診療にあたり、放射線科医や放射線技師の協力の下、最新の画像診断も常に行える体制を整えています。また、開頭手術・カテーテル治療の両方を提供でき、発症3時間以内の静脈内血栓溶解療法(t-PA)も積極的にを行っています。関連リハビリテーション病院との連携もあるため、治療終了後には、スムーズに回復期のリハビリテーションが行えます。



説明は、  
徳島大学病院  
脳神経外科 総務医長  
**里見 淳一郎**  
さとみじゅんいちろう  
問い合わせ/脳神経外科医局  
Tel.088-633-7149